

1. 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

(1) 地域産業資源活用事業を促進する意義

本県の県内総生産は約4兆7,000億円であり、製造業、サービス業、卸売・小売業がその半数以上を占めている。また、本県企業の99.8%は中小企業であり、うち9割近くが小規模企業である。

これらの地場中小企業が地域産業における基幹企業となっており、地域経済を支えていることから、これを支援し、振興することは重要な課題である。

本県では、平成17年3月に産業振興の基本指針として、「産業革新戦略」を策定し、「連携新産業の創造」、「次世代型企業の育成」、「戦略的企業誘致の推進」、「産業人材の総合的育成確保」を柱とした施策を推進してきたが、米国の金融危機に端を発した世界同時不況による非常に厳しい経済・雇用情勢と、あらためて本県産業を取り巻く外部環境や足元の産業実態を踏まえ、激化するグローバル競争や地域間競争に本県産業がいかに力強く勝ち残っていくか、その具体的な方向性を示すため、平成22年3月に「産業革新戦略2010」を策定したところである。

「中小企業地域資源活用プログラム」は、地域が保有している「地域産業資源(産地の技術、地域の農林水産品、観光資源等)」を、域外への事業展開において差別化の要素となり得る地域の「強み」として位置づけ、これら地域産業資源を活かした事業創出を通じて地域の自立的・持続的な成長を支援する取り組みであり、正に、地域経済活性化のための有効な処方箋である。

幸い、本県には、多くの先人たちが築きあげてきた歴史に裏打ちされた山中漆器や輪島塗、九谷焼、加賀友禅などの優れた伝統工芸や繊維加工等の産地の技術、加賀野菜や日本海の海の幸など能登・加賀の特色ある農林水産物、高い知名度を誇る城下町金沢や加賀温泉郷、和倉温泉などの湯量豊富な温泉、白山麓や能登の豊かな自然環境といった観光資源など、全国に誇るべき地域産業資源に恵まれている。

こうした地域の強みである優れた地域産業資源は、地域産業の強化や新たな地域産業創出の核となり得るものであることから、更に磨きをかけるとともに、中小企業による地域産業資源を活用した新商品・新サービスの開発や生産、需要の開拓など事業化に向けた取り組みを総合的に支援するなど、これら地域産業資源を活用した事業活動の促進を図ることを通じ、地域間競争を勝ち抜くための競争力のある元気な産業づくりを進めていくこととする。

(2) 地域産業資源の指定に当たっての基本的な考え方

本構想では、県内の中小企業の事業活動を促進し、地域産業の強化や新たな地域産業創出の核となり得る地域産業資源を、以下の観点に基づき特定するものとする。

地域において共有され、域内の中小企業が現にあるいは潜在的に活用可能であること

当該中小企業の競争力強化の源泉となり得るものであり、なおかつ、他地域の同種の地域産業資源と比べて、生産量や品質、機能、歴史的・文化的背景等の面で顕著な特徴を有しており、それによって消費者等に広く認識されているものであること

本県に数ある魅力的な地域産業資源の中でも、特に中小企業による新たなビジネス創出に活用される可能性の高いものであること

また、特定する地域産業資源の内容については、中小企業による当該地域産業資源の活用実態や、新たな地域産業資源に関する研究開発の成果等に応じて、機動的に見直し、充実を図っていくこととする。

(3) 地域産業資源活用事業の支援に当たっての基本的な考え方

地域産業資源活用事業の支援に当たっては、地域振興を所管する企画振興部、保健・医療を所管する健康福祉部、環境保全を所管する環境部、商工業を所管する商工労働部、観光業を所管する観光交流局、農林水産業を所管する農林水産部の6つの部局が部局横断の下、参画する「産業化資源活用推進本部」(本部長:副知事)を中心として緊密に情報交換し、中小企業地域資源活用促進法に基づく認定事業を数多く輩出することを目標として、積極的に支援案件の発掘などに取り組む。

また、国や市町、関係団体、研究機関と連携し、国や県の施策を併せて活用しながら、地域の中小企業が地域産業資源活用事業に取り組むに当たり必要となる商品の開発や生産、販路開拓等に関する情報やノウハウの提供等に努め、中小企業が行う地域産業資源活用事業を積極的に支援していく。

2. 地域産業資源の内容

本県において、その産業資源を活用した中小企業による事業を促進する意義があると考えられる資源は現在のところ以下のとおりである。

(1) 農林水産物 (31件)

名称	地域産業資源に係る地域
加賀野菜	金沢市、七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、宝達志水町、中能登町
能登野菜	県全域
能登大納言小豆	県全域
ルビーロマン	県全域
加賀丸いも	金沢市、小松市、白山市、能美市
金沢青かぶ	金沢市、七尾市、珠洲市、羽咋市、かほく市、白山市、野々市町、津幡町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
能登栗	金沢市、七尾市、輪島市、羽咋市、かほく市、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
石川米	県全域
にんじん	小松市
トマト	金沢市、小松市、白山市、加賀市
かほっくり(さつまいも)	金沢市、かほく市、津幡町、内灘町
能登のぶどう	七尾市、輪島市、志賀町、穴水町、能登町
ブルーベリー	金沢市、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、かほく市、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
能登牛	金沢市、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、かほく市、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
のめぐみ(機能性豚肉)	金沢市、七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
烏骨鶏	金沢市、白山市、津幡町

原木しいたけ	金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、川北町、津幡町、七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町
能登ヒバ(アテ)	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、宝達志水町、志賀町、中能登町、穴水町、能登町
カレイ	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、内灘町、宝達志水町、志賀町、穴水町、能登町
サヨリ	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、内灘町、宝達志水町、志賀町、穴水町、能登町
イカ	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、内灘町、宝達志水町、志賀町、穴水町、能登町
アマエビ	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、内灘町、宝達志水町、志賀町、穴水町、能登町
ブリ	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、内灘町、宝達志水町、志賀町、穴水町、能登町
タラ	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、内灘町、宝達志水町、志賀町、穴水町、能登町
マグロ	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、内灘町、宝達志水町、志賀町、穴水町、能登町
あわび	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、内灘町、宝達志水町、志賀町、穴水町、能登町
加能ガニ(ズワイガニ)・コウバコガニ	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、内灘町、宝達志水町、志賀町、穴水町、能登町
ナマコ	七尾市、珠洲市、穴水町、能登町
牡蠣	七尾市、穴水町
海藻	七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町
赤西貝	七尾市

(2) 鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術(53件)

名称	地域産業資源に係る地域
白山の伏流水	金沢市、白山市、能美市、川北町、野々市町
能登海洋深層水	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町

乳製品	金沢市、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、かほく市、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
海藻加工品	七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町
水産練製品	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、
干物	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、川北町、野々市町、津幡町、志賀町、宝達志水町、穴水町、能登町
かぶら寿し	金沢市、七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、内灘町、津幡町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
魚の糠漬け・粕漬け	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、宝達志水町、志賀町、穴水町、能登町
いしり(いしる等)	七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町
ころ柿	志賀町、中能登町
加賀みそ	金沢市、小松市、加賀市、白山市、能美市、津幡町
大野醤油	金沢市、白山市
和菓子	県全域
堅豆腐・半堅豆腐	白山市
金沢佃煮	金沢市、かほく市、津幡町
加賀麩	金沢市、内灘町
加賀料理	県全域
能登井	輪島市、珠洲市、穴水町、能登町
小松うどん	小松市
能登鍋	七尾市
清酒	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、白山市、能美市、野々市町、津幡町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
加賀茶	金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町
金属加工機械部品	県全域
建設機械・鉱山機械部品	県全域
化学繊維紡績糸	金沢市、七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
ねん糸・かさ高加工糸	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、宝達志水町、志賀町、中能登町
絹織物	県全域
化合繊維物	県全域
ニット生地	金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、宝達志水町、志賀町

	町、中能登町
レース	金沢市、小松市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、宝達志水町、志賀町
組ひも	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、津幡町、宝達志水町、志賀町、穴水町
細幅織物	七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、宝達志水町、中能登町
田鶴浜建具	七尾市
割り箸	金沢市
塩	輪島市、珠洲市、能登町
ガラス工芸品	金沢市、七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、宝達志水町、中能登町
珪藻土	金沢市、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、志賀町、宝達志水町
珪藻土製品	金沢市、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、志賀町、宝達志水町
木炭	金沢市、小松市、能美市、白山市、津幡町 七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町
竹粉、竹チップ	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市町、津幡町、志賀町、宝達志水町
伝統的工芸品	
(九谷焼)	金沢市、小松市、加賀市、白山市、能美市、川北町、野々市町
(加賀友禅)	金沢市
(輪島塗)	輪島市
(山中漆器)	加賀市
(金沢仏壇)	金沢市
(金沢箔)	金沢市、津幡町
(七尾仏壇)	七尾市、中能登町
(金沢漆器)	金沢市、野々市町、内灘町
(牛首紬)	白山市
(加賀繡)	金沢市、白山市、能美市
(和紙)	金沢市、白山市、川北町、野々市町
(美川仏壇)	小松市、白山市、能美市
(珠洲焼)	珠洲市

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源 (113件)

名称	地域産業資源に係る地域
白山国立公園	白山市
能登半島国立公園	七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
越前加賀海岸国立公園	加賀市

犀川	金沢市
浅野川	金沢市
木場潟	小松市
鶴仙溪	加賀市
手取溪谷	白山市
獅子吼高原	白山市
内灘海岸	内灘町
宝達山	宝達志水町
のとキリシマツツジの 植栽地	七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中 能登町、穴水町、能登町
兼六園	金沢市
金沢城公園	金沢市
金沢の茶屋街	金沢市
長町武家屋敷跡	金沢市
尾山神社	金沢市
寺町寺院群	金沢市
大乘寺	金沢市
一本杉通りの伝統的 な商家群	七尾市
こまつ町家	小松市
那谷寺	小松市
安宅の関	小松市
白米の千枚田	輪島市
大本山總持寺祖院	輪島市
時国家	輪島市
橋立地区重要伝統的 建造物群	加賀市
気多大社	羽咋市
妙成寺	羽咋市
白山比咩神社	白山市
喜多家住宅	野々市町
倶利伽羅不動尊	津幡町
ボラ待ちやぐら	穴水町
真脇遺跡	能登町
伝統的工芸品の工房	
(九谷焼)	金沢市、小松市、加賀市、白山市、能美市、川北町、野々市 町
(加賀友禅)	金沢市
(輪島塗)	輪島市
(山中漆器)	加賀市
(金沢仏壇)	金沢市
(金沢箔)	金沢市
(七尾仏壇)	七尾市、中能登町
(金沢漆器)	金沢市
(牛首紬)	白山市

(加賀繡)	金沢市、白山市、能美市
(和紙)	金沢市、白山市、川北町
	輪島市
(美川仏壇)	小松市、能美市、白山市
(桐工芸)	金沢市
(檜細工)	白山市
(珠洲焼)	珠洲市
(加賀毛針)	金沢市、白山市
(大樋焼)	金沢市
(加賀竿)	金沢市
(木彫(加賀獅子頭))	金沢市、白山市
(加賀象嵌)	金沢市
(加賀提灯)	金沢市
(加賀水引細工)	金沢市
(金沢表具)	金沢市
(金沢和傘)	金沢市
(郷土玩具)	金沢市
(琴)	金沢市
(三弦)	金沢市
(太鼓)	白山市
(竹細工)	金沢市
(茶の湯釜)	金沢市
(鶴来打刃物)	白山市
(手捺染型彫刻)	金沢市
(銅羅)	金沢市
(七尾和ろうそく)	七尾市
(能登上布)	羽咋市、中能登町
(能登花火)	宝達志水町
あめの俵屋	金沢市
すず塩田村	珠洲市
青柏祭	七尾市
お熊甲祭	七尾市
お旅まつり	小松市
御陣乗太鼓	輪島市
山代大田楽	加賀市
白山地区の祭り	白山市
手取の火まつり	川北町
能登のキリコ祭り	七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町
モンテレージャズフェスティバルイン能登	七尾市
定置網漁	七尾市
山中温泉	加賀市
山代温泉	加賀市
片山津温泉	加賀市

粟津温泉	小松市
辰口温泉	能美市
白山温泉郷	白山市
湯涌温泉	金沢市
和倉温泉	七尾市
輪島温泉郷	輪島市
近江町市場	金沢市
輪島朝市	輪島市
金沢21世紀美術館	金沢市
石川県立美術館	金沢市
石川県立歴史博物館	金沢市
石川県七尾美術館	七尾市
石川県輪島漆芸美術館	輪島市
魯山人いろは草庵	加賀市
中谷宇吉郎雪の科学館	加賀市
石川県九谷焼美術館	加賀市
石川ルーツ交流館	白山市
石川県西田幾多郎記念哲学館	かほく市
金沢市立安江金箔工芸館	金沢市
金沢市民芸術村	金沢市
吉野工芸の里	白山市
のとじま水族館	七尾市
小松市立宮本三郎美術館	小松市
加賀料理を提供する施設	金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町
加賀の伝統芸能	金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町
能登の伝統芸能	七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
能登の里山里海	七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
加賀の里山	金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、津幡町

3. 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

1. 地域産業資源活用事業を促進するための施策

農林水産物や、伝統工芸・繊維加工等の産地の技術、観光資源などの本県の魅力ある地域産業

資源を活用した中小企業による新事業を創出していくため、国の施策等を併せて活用しながら、地域産業資源の活用に係るノウハウの提供やビジネスネットワーク形成の場づくり、新たな地域産業資源の開発等に積極的に取り組む。

- (1) 中小企業への地域産業資源活用に係る情報提供の推進
県内企業が地域産業資源活用事業の成果等から得た知識やノウハウを研究機関や関係団体等と連携して、収集、分析し、地域産業資源の特徴や活用方法等の情報を地域として活用できるよう蓄積、情報提供していくことにより、県内の中小企業による更なる地域産業資源の活用を促進する。
- (2) 県産品や観光の魅力を情報発信すること等による地域産業資源や活用商品等の認知度向上
本県の魅力ある農林水産物や伝統的工芸品、観光資源等の地域産業資源及びそれを活用した商品やサービスに関する認知度を向上させるため、県内の関係団体とも連携して、県内外の企業や消費者等に向けて積極的に情報発信する。
- (3) 産地と首都圏等の企業や消費者をつなぐ場づくり
関係団体や組合等が行う産地と首都圏等の企業のバイヤーや消費者をつなぐ場づくりを支援し、ビジネスネットワークの形成を支援する。
- (4) 新たな地域産業資源の開発支援
県内の試験研究機関における農林水産物の機能性等を解明する研究開発や、県内の関係団体による地域ブランド創出の取り組み等に対する支援を通じ、これまで経営資源として認識されていなかった資源の価値向上等を図り、地域産業資源として開発していく。
- (5) いしかわ産業化資源活用推進ファンド(以下「活性化ファンド」という。)による支援
本県経済全体の活性化を図るため、中小企業基盤整備機構と地域金融機関の協力のもと、(財)石川県産業創出支援機構に、200億円の活性化ファンドを創設した。毎年2億円強生じる運用益を利用し、地域産業資源を活用した新たな取り組みを行う事業者等へ助成することにより、地域産業資源の活用を促進する。

2. 個別地域産業資源に関する施策

中小企業が行う地域産業資源活用事業への支援に加え、産地や関係団体等と連携し、また、その意欲ある取り組みを支援することにより、地域産業資源活用事業の促進を通じた伝統工芸や繊維等の技術、農林水産品や観光資源などの本県の魅力ある地域産業資源に関する地域産業の発展を実現(促進)するため、以下の施策を実施する。

- (1) 農林水産物の新たな商品価値の創造と販路拡大
食品産業と農林水産業の連携を促進し、特産品や伝統食品が持つ抗酸化作用や血圧上昇抑制効果などの機能性等の検討・評価を行い、それらを活用した商品づくりを進める。
消費者・実需者のニーズや農林水産物の特長等を踏まえた商品・製品の開発や輸出を含めた販路開拓を進める。
加賀・能登の自然や歴史、食文化などを効果的に組み合わせ、県産農林水産物の魅力の情報発信や普及啓発を進める。
「加賀」、「能登」などの地域名を冠した地域団体商標など「知的財産」の取得・活用を促進する。
- (2) 他産業との連携による繊維産業の創出
有望他産業との連携により、繊維産業の産業資材分野(自動車用部材や土木建築資材等)への

展開を促進する。

バイヤーが集積する大都市圏における展示商談会等の開催を支援する。

(3) 産地等の意欲ある取組みへの支援による伝統的工艺品産業の活性化

国内外への見本市への出展など販路開拓を支援するとともに、後継者の育成など伝統産業の振興を図る。

マーケティングや販路、市場開拓力の強化に向けた取組みを支援する。

国際総合見本市の出展や販路開拓のためのコーディネーターの活用に対し支援する。

新商品開発、製造設備近代化及び経営的に自立する場合の施設整備に対し支援する。

温新知故産業の創出を図る。

IT技術と連携した新たなデザイン開発手法(デジタルショールーム)の開発・活用を図る。

熟練した技の伝承に向け、後継者の確保と養成を支援する。

山中漆器産業技術センター、九谷焼技術研修所、輪島漆芸技術研修所を通じて熟練した技の伝承と後継者の養成を図る。

伝統工芸に携わる若手技術者の定着を図る。

首都圏におけるクラフトギャラリー出展助成など、若手作家の作品の発表機会の拡大等を支援する。

(4) 3大都市圏誘客1000万人構想の推進

ア. 観光素材に磨きをかけ、石川の観光ブランドを確立する。

伝統工芸と伝統芸能、地域の食文化を活用する。

本県の伝統的工艺品の心と技を、見て・触れて・感じる機会を提供するとともに、販売を促進し、観光振興につなげる。

能や邦楽などの伝統芸能に観光客がより多く触れることができるよう、鑑賞機会を充実する。

本県ならではの季節感あふれる豊かな食材や「いしる(いしり)」など本県独自の食文化の情報を発信する。

温泉地など観光地の活性化と多様な観光資源の活用を図る。

千里浜なぎさドライブウェイなど県内の代表的な景勝地、城址、庭園、山岳など価値のある文化・自然遺産を保全し、観光資源として更なる活用を図る。

温泉情緒のある街並み整備を進めるとともに、健康維持と癒しの温泉づくりなど、個性ある温泉地づくりを支援する。

イベント・コンベンションの誘致拡大と活用を図る。

伝統的な祭りや行事など、様々な地域資源を活用した旅を提案、推進する。

体験交流観光を推進する。

工場の視察ツアーなどの「産業観光」の資源を発掘し、誘客に活用する。

参加体験型の修学旅行などのニーズに対応し、学校・旅行代理店との連携により、伝統工芸体験や郷土の料理体験など、様々なプログラムを企画・提案する。

豊かな自然や里山を活用した多彩なツアーメニューを提案できるインストラクターを育成するとともに、受け入れネットワークを拡充してグリーン・ツーリズム、エコ・ツーリズムを推進する。

イ. おもてなしの心を高めるとともに、観光情報を効果的に発信する。

おもてなしを充実する。

県民や第一線で観光事業に携わる従業員などに啓発活動や研修の実施を通じて、おもてなしのこころを育む。

観光の様々な分野でユニバーサルデザインを推進し、全ての人にやさしい観光地づくりに努める。

県外からの観光客がわかりやすい案内板等の充実に努める。

観光客の満足度の調査やインターネットの活用により広く意見を収集し、その結果を施策に反映

させる。

観光人材を育成し、地域のボランティア等の活動を支援する。

プランニングやマネジメント能力を習得するセミナーにより、業界リーダーを育成する。

観光人材を育成するための専門大学の誘致や専門学科の設置など観光人材を育成する体制の充実を目指す。

観光関連産業の功績者を観光マイスター(マイスターは名人、師匠の意味)として顕彰し、業界のレベルアップを目指す。

観光ボランティアガイドの育成と観光地での活躍を促進する。

ターゲットを意識して、戦略的に観光情報を発信する。

ターゲット(ファミリー、女性、団塊世代、高齢者)をしぼり効果的に情報発信する。

観光情報 PR 体制の強化やインターネットによる情報提供の充実を進める。

情報発信効果の高い映画やドラマ等の誘致を推進する。

石川にゆかりの深い著名人や石川ファンによる観光 PR、ほっと石川観光倶楽部の活用など、口コミやリピーターに繋がる取組みを進める。

(5) 愛着の持てるふるさとを活用した地域振興の推進と次世代への継承

ア. 集落の存続に不可欠な働く場の確保に向け、中山間地域を含む過疎地域等の地域特性を活かした産業基盤づくりの推進

アグリビジネスの起業化や特産物の育成等による所得の確保を図る。

販売や経営の専門家等の派遣や技術研修の開催により、加工品開発や直売、農家レストラン・農家民宿の開業等のアグリビジネスの起業化を促進する。

イ. 地域の活力を育むため、産学官と連携しながら、地域づくり活動の担い手の育成や多彩な地域資源を活用した地域づくりの支援

地域の誇りと愛着を持ち、地域づくり活動の核となる人材や地域づくり団体の育成を図る。

「いしかわ地域づくり塾」の開講などにより引き続き人材を育成する。

地域が有する多彩な資源を活用して、創意工夫を凝らして行う地域づくりを支援する。

奥能登ウェルカムプロジェクト戦略研究会の検討を踏まえた広域連携事業の推進やビジネスモデルの実現に向けて取り組む。

本県の特色である高等教育機関の集積を活かした取組みや県外大学サークルの合宿誘致など先導的な事業の展開を図る。

3. その他関連する施策

上記施策のほか、将来の本県産業を牽引することが期待される「次世代産業の創造」、「ニッチトップ企業の育成」や、中小企業の再生・事業転換や創業、経営革新、企業間の連携などの意欲ある取り組みの支援、本県の産業活力を支える人材の総合的育成及び確保等の支援などの施策については、地域産業資源活用事業の促進による地域経済の活性化を図る際にも、非常に有効な施策であることから、積極的に活用していくこととする。

(1) ニッチトップ企業の育成等を通じた、本県産業全体の競争力の向上

高い競争力を有し、県産業全体を牽引することが期待される「ニッチトップ企業」の育成等を通じ、本県産業の競争力を向上させる。

飛躍的な成長が期待できるニッチトップ企業等に対し、オーダーメイド型の支援・育成を行うことにより、本県産業全体を牽引する企業の創出を図る。

飛躍的な成長が期待できる企業を発掘し、オーダーメイド型の集中支援・育成を実施する。

大学研究者、公認会計士、弁理士、ベンチャーキャピタル、総合商社など、県内外の一流専門家との独自のネットワークを構築し、連携先の紹介や研究開発及び事業化への助言など具体的なアドバイスをを行う。

次代を担うニッチトップ企業予備軍を育成するため、革新的ベンチャー企業の創出を推進する。

優れた技術シーズを有する革新的ベンチャー企業の創出に対するきめ細かな支援を行う。

スタートアップ段階にあるインキュベーション施設入居者に対するきめ細かな支援を行う。

知的財産の戦略的な創造、保護及び活用を推進し、本県企業の更なる成長・発展を支援する。

県内企業による開放特許の活用など知的財産の戦略的活用を促進する。

海外での模倣品被害など知的財産トラブルへの対応を支援する。

企業や大学との連携を一層強化することに加え、企業の新製品・新技術開発に対する機能の充実や県内外の試験研究機関等との連携により、工業試験場の機能強化を図り、本県企業の研究開発力の向上等を支援する。

工業試験場の有する知的財産や技術的ノウハウ等の技術移転を促進する。

工業試験場の依頼試験・分析機能の充実を図る。

民間のノウハウやネットワークを活用し、道の駅の活性化やいしかわ新商品トライアル発注制度等の新たな取組みにより、地域資源の発掘・販路開拓や県内企業の新商品の開発・販路開拓を支援する。

「道の駅」を活用して特産品の販路開拓を行う。

県内中小企業が開発した新商品を県・民間企業で試験的に使用・評価することにより、販路開拓を支援する。

県海外事務所や総合商社等の海外ネットワークを通じ、アジアや欧米等における最新のトレンドを収集・把握し、県内企業等へ情報発信することにより、県内企業の海外展開や販路拡大を支援する。

県内企業が行う中国など海外への販路開拓を支援する。

海外展開のためのビジネスパートナーの発掘・紹介、対日投資ミッションの招聘等により、外国企業等と県内企業とのマッチングを推進する。

(2) 地域経済と雇用の中核である地場産業の活性化

再生・事業転換支援の着実な実施や創業・経営革新・企業間の連携など意欲ある取組みに対し、支援機関相互が連携し、中小企業の状況や課題に応じたきめ細かな支援を行う。

厳しい経営環境にある中小企業の再生・事業転換の支援を推進し、本県経済の担い手である中小企業の経営の安定化を図る。

再生・事業転換に意欲的に取り組む企業を経営・金融両面から総合的に支援する。

経営革新・企業間の連携など、中小企業の新たな取組みを掘り起こし、経営基盤の強化を図る。

中小企業が今日的な経営課題に即応するために行う経営革新等の新たな取組みに対し経営・金融面等から幅広く支援する。

新規創業を目指す起業家の発掘・育成を推進し、本県経済を支える中小企業の裾野の拡大を図る。

創業しやすい環境づくりを行い、新規創業を目指す起業家の発掘・育成を推進する。

事業承継の円滑化に向けた支援を行い、中小企業の経営基盤の維持を図る。

経営者の高齢化などに伴い、重要な経営課題となっている事業承継について、意識啓発、関係制度の周知等に取り組む。

県、国、中小企業基盤整備機構、市町、経済団体、政府系金融機関等の支援機関相互の緊密な連携により、企業の状況・課題に応じたきめ細かな支援を推進する。

(3) 本県の産業活力を支える人材の総合的育成及び確保

人口減少時代においても産業活力を維持していくため、高度化・複合化する業務に対応できる高度専門人材やモノづくりを支える技能人材の育成・確保、将来の本県産業を担う若年人材の育成・確保など、本県の産業活力を支える人材の総合的な育成・確保に取り組む。

素材の調達から製造・販売に至る各工程の最前線に立つビジネスリーダーの育成を推進する。

取引先や消費者のニーズに的確に対応し、自社の技術力を客先の価値に結びつけ企画・提案を行うことのできる人材の育成・確保を推進する。

大学や研究機関等との連携により、製造現場における中核人材の育成・確保を推進する。

生産拠点やマーケットのグローバル化に対応し、海外でのビジネス経験やノウハウの共有化を図るとともに、国際ビジネスを担う人材の確保を推進する。

出産・育児を終えた女性や退職後のOB人材の活用を促進する。

多能工化を目指す在職者訓練やモノづくりの基礎を教える若年者訓練を推進する。

需給変動に臨機応変に対応できる体制を構築するため、複数の工程を担当できる技能者の育成を推進する。

新たにモノづくり産業に従事した若者やこれからモノづくり産業に従事しようとする若者を対象に、モノづくりの基礎教育を推進する。

技能人材の育成を担う教育機関・支援機関が連携し、利用者にとってわかりやすい情報提供を実施する。

本県産業・企業の魅力発信の強化を図るとともに、将来のモノづくり人材の育成を推進する。

モノづくりの感動体験を将来の就職へつなげるため、関係機関が連携してモノづくりの魅力発信を推進する。

若者の地元企業への就職を促進するため、若者が知りたい情報を的確なタイミングで提供する。若年者の社会人基礎力の向上を図るとともに、企業の受け入れ態勢の強化を図り、就職側・採用側の両面から新規採用者の定着を促進する。